

ソニー・太陽株式会社 インクルージョン・ワークショップ



開催日：2016年7月29日 開催地：ソニー・太陽株式会社（大分県速見郡日出町）

主催：ソニー・太陽株式会社／後援：公益財団法人ソニー教育財団

参加者：日出町立大神小学校 20名 大分県立日出支援学校 8名

ボランティア スタッフ：日出総合高校 15名 指導員：ソニー・太陽株式会社 6名

ソニー・太陽は、全社員の約 70 パーセントを障がいのある社員が占めるソニーの特例子会社でソニー圏では国内におけるマイクロホン基幹工場です。インクルージョン・ワークショップとは、障がいのあるなしに関係なく、ダイバーシティ&インクルージョン（一人ひとりの違いを個性として尊重し、お互いを許容する事で、新しいものを生み出す力にすること）を体験することにより、相互理解を深め、またソニー・サイエンスプログラムの主旨でもある科学を学び、論理性、好奇心、創造力を育むことにもつながるソニー・太陽の特色を生かしたプログラムです。今回はペットボトルと牛乳パックで作るヘッドホンに挑戦して頂きました。

1. オリエンテーション



ソニー・太陽株式会社

- 設立：1978年（ソニー㈱特例子会社）
※ソニー㈱と社会福祉法人太陽の家との共同出資会社
- 社員数：約180名（うち障がい社員約120名）
※製造系、事務系に限らず全ての部署で障がい社員が活躍



保護より働く機会を

健丈者より優れたものを



世に身心障がい者はあっても
仕事に障がいはない
太陽の家族経営者
取締役 中村 裕 博 士



障がい者だからという
特殊なしの厳しさで
ファウンダー
取締役 井 深 大

ソニー・サイエンスプログラムについて



社会貢献活動の原点は、創業者の「志」に

**「子どもたちの夢の実現に貢献したい。
次の世代のために。」**

ソニーファウンダー
井深 大 氏

この志のもと、ソニーは50年以上に渡り社会貢献活動を続けています。



1959年には、小学校の
理科教育を支援する事業を開始。

第1回理科教育支援事業
[1959年4月]

未来を生きる子どもたちへ、
科学の子カフメ。



グループごとに自己紹介、ソニー・太陽について、またソニー創業者の井深大に始まるソニー・サイエンスプログラムの紹介、インクルージョン・ワークショップの説明など。



ソニー・太陽で作っている代表的な製品

左より

- ・ C - 3 8 B
- ・ MDR-CD900ST
- ・ C-800G

2. ヘッドホンの製作

●材料を確認しよう！

●ペットボトル 2本分

●牛乳パック(1L) 2本分



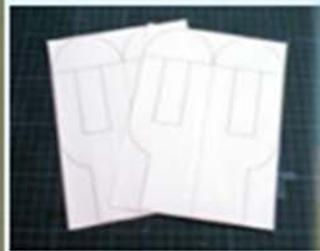
<キットに入っているもの>

- ① 輪ゴム
- ② オーディオケーブル
- ③ ホルマル線 2個
- ④ ネオジム磁石 2個
- ⑤ クッションテープ 2本

ペットボトル切抜き用
丸型紙シール



ヘッドバンド
型紙シール



たったこれだけの部品でヘッドホンができます！

ペットボトル切り

ネオジム磁石の取り付け



第1の難所のペットボトル切りです。
小学生にはちょっと固いかな？



ネオジム磁石はとっても強力な磁石なので
取扱いには注意してね！

クッションテープの貼り付け



ヘッドホンの耳当て部の組立です。

ホルマル線巻き



ホルマル線巻きは第2の難所となり、みんな真剣です！

座学（音ってなんだろう？）



今まで作った耳当て部分の原理を勉強します。

ヘッドバンドの製作



家から持ってきた牛乳パックでヘッドバンドを製作します。

試し聞き



どうかな？ 聞こえるか



デコレーション



デコレーションをして、世界でたった一つだけのヘッドホンの完成です。

当日はTV、新聞をはじめ、多数のメディアからの取材がありました。取材を受けた子ども達はとても嬉しそうでした！



3. 修了証授与



みんな頑張ったので全員に修了証をお渡ししました

このあとは、みんなで昼食を取り、工場見学を行って終了となりました。